



フランチャイズビジネスに欠かせない「教育」の重要性を改めて認識できるフランチャイズ経営士講座

宮地 章 (株)アルペン フィットネス事業部事業部長

2006年4月に女性専用30分フィットネス直営店1号店「アルペンクイックフィットネス砂田橋」をOPEN。2006年10月フィットネス事業部を立ち上げ、2007年2月よりフランチャイズ事業を本格展開。現在、女性専用30分フィットネス:27店舗、総合フィットネスクラブ:2店舗(直営)を運営

株式会社アルペンは、スポーツ用品販売では国内トップの実績を持っていますが、スポーツ振興の観点からさらにサービス事業にも力を入れています。その一つが、フィットネス事業です。「女性専用30分フィットネス」のカテゴリーを、フランチャイズ事業として全国に展開中です。

フランチャイズビジネスは、弊社にとって未経験の分野であったため、その点をカバーすべく「フランチャイズ経営士講座」への参加を決意しました。

講座を通じてまず感じたことは、フランチャイズシステムに必要な知識の獲得もさることながら、「教育」という分野の重要性です。

講座修了後、まず現場に反映させたことは「教育」の充実です。FC企業様のスタッフ教育をはじめ、社内研修の充実も図りました。特に、われわれサービス業におけるスタッフのレベルは即サービスのクオリティに繋がります。私

が感じたのは、サービス業における「人間力向上の重要性」でした。

物販の場合、企業の収益確保のために販売額をアップさせる、即ち「商品力」の向上に努めますが、サービス事業の場合は、「サービスの質」=人間力であり、サービス(無形財)を提供するスタッフの「人間力」を向上させることが、企業の売上UPになると考えます。

「人間力」向上を図るための施策として、教育の充実が必要になってきます。その教育の元となる、知識やシステムの考え方を「フランチャイズ経営士講座」で得ることができました。

最後に、《人生を幸せに過ごす最低条件である「健康」》に関わる大変有意義なビジネスである女性専用30分フィットネスを展開していく上で、非常に大きな糧となる受講となりました。今後は、さらに積極的なビジネス展開を押し進めていく決意です。

フランチャイズエイジ★バックナンバー案内

*** 2009・7**

この人・荻田築氏(タリーズコーヒージャパン)／特集:第37回JFA通常総会(①新役員一覧②会長挨拶&副会長ひとことメッセージ③事業報告&事業計画④総会記念講演録⑤来賓挨拶⑥カラーPHOTO REPORT)／特報「社会インフラとしてのコンビニエンスストア宣言」について／研究報告:社会インフラとしてのコンビニエンスストアのあり方研究報告／判例研究「債務不履行解除と違約金規定の効力」／連載:「フランチャイズ経営士の視点」(中井浩幸氏)／環境対策・セイコーマート

*** 2009・9**

シリーズ特集【環境】⑦「建物&建材への工夫が省エネに大きく貢献」／2009年上半期環境関連ニュースダイジェスト／短期集中連載①ファミリーマートの工場の品質衛生点検／この人・佐藤弘志氏(ブックオフコーポレーション)／特報・コンビニエンスストアSS活動結果報告／新連載・FC企業の海外展開:第1回「モスフードサービスの海外展開のアウトライン」／環境対策・日本マクドナルド／連載:「フランチャイズ経営士の視点」(尹原基氏)／判例研究「フランチャイズ契約で定められた契約終了後の競業禁止義務条項が公序良俗に

反するとして無効とされた事例」

*** 2009・11**

FC統計特集:①2008年度FC統計、②FC市場規模の推移、③2009年海外展開状況アンケート集計結果／論説「フランチャイジーの団体と労働組合」(川越憲治氏)／この人・北条晋一氏(グロービートジャパン)／調査レポート「リスク管理・コンプライアンス体制調査の結果概要」FC企業の海外展開:第2回「ローソンの海外展開のアウトライン」／環境対策・ドトールコーヒー／連載:「フランチャイズ経営士の視点」(倉持篤哉氏)／判例研究「フランチャイジー一方の損害賠償請求等が棄却された事例」